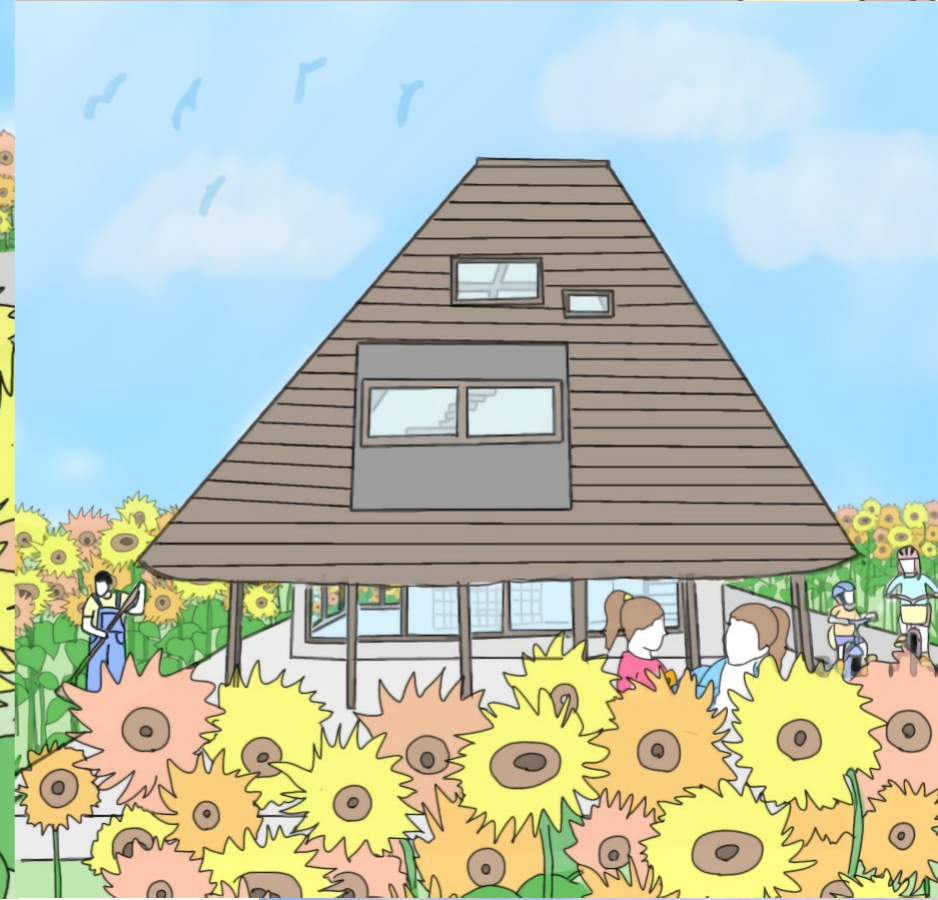
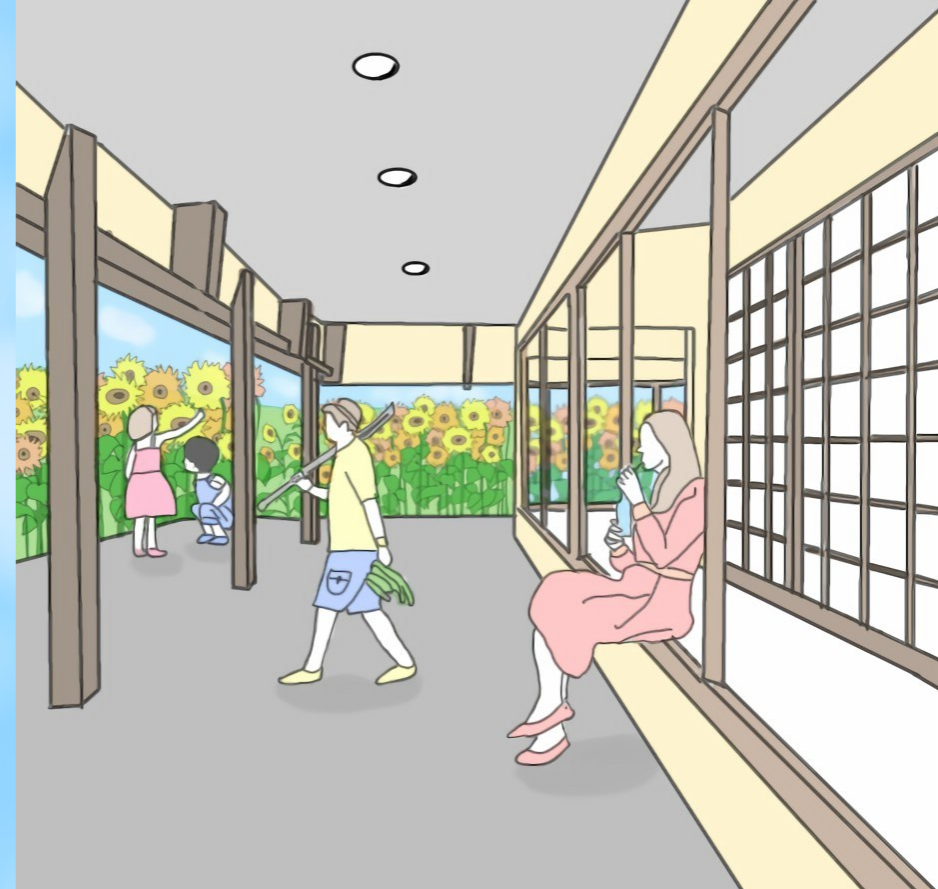


# 屋根を纏う住まい —津南町のひまわり広場に包まれた住処—

包まれた空間は安らぎを与える。ひまわりと屋根と家族に包まれる生活



## 敷地について

対象敷地は新潟県中魚沼郡津南町赤沢沖の原台地。

津南駅から約6キロメートル離れて位置する。日本有数の豪雪地帯として知られるが雪だけではない。澄んだ水、実り豊かな農作物、およそ3万年前から続く歴史文化など、多彩な表情を持つ魅力的な地域である。

沖の原台地では夏になるとひまわりが一面に広がる。遊休農地を利用して作付けを行い、はじめた。当初は50アール程度の規模だったが、多勢の人々が訪れた影響を受け現在では約4ヘクタールの面積に50万本のひまわりが咲き誇る。平成17年には町の花として認定され老若男女に愛されている。



## 敷地選定理由

津南町の雄大な河岸段丘がもたらす、立体的な景観。目の前に広がる丘の上からのあたり一面黄色い世界は、住民のみならず全国各地からの観光客も魅了する。

先史時代より築かれた愛おしい生活の営み。これからは、ひまわりと共に受け継いで欲しい願いをこめ、21世紀住宅と向き合う。



## 設計背景

21世紀になると、SNSが急激に普及し今では当たり前の存在になった。しかしその反面、人と過度につながり、寂しさや不安など負の影響を受けている。

溢れる情報の渦に翻弄される毎日で、心は休まっているのだろうか。

家族との他愛ない会話、自分と向き合う時間。人の温もりと安心感を求めている。  
家族だけの守られ心安らぐ、包まれた住まいの提案。

## 屋根について

壁の役割を担い、かつ屋根の役割も担う。それはまるで帽子のフードである。

曲線で構成されていて、内側のピロティ空間を優しく包み込む。包まれた空間で豊かな四季と自然を家族と共に。



## 建築用途

建築用途は専用住宅。  
本計画では、ひまわり畑を管理する夫婦と子の3人家族の住まいを提案する。

雪国である十日町、津南町。豪雪を乗り越えるには屋根が鍵となる。津南町、十日町で多く見られるのは落雪型と呼ばれる屋根。急勾配によって雪が落ちる仕組みの屋根。この屋根によって生まれる小屋裏空間から着想を得て設計する。



## 設計概要

対象敷地 新潟県中魚沼郡津南町赤沢

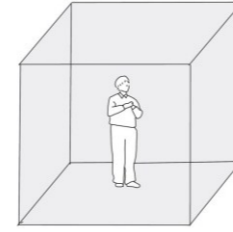
用途 専用住宅

1階床面積 26.50㎡  
2階床面積 43.06㎡  
3階床面積 22.36㎡  
4階床面積 10.77㎡  
延べ床面積 102.69㎡

構造 木造

## コンセプト

一般的な住宅は6面体のキューブ。閉ざされた印象で安心感はない。  
安心感を与える空間とは何か。それは、包まれた空間ではないだろうか。心が落ち着き安らぐ。具体的には、押入れの中やくるまる布団の中、小屋裏。小屋裏が持つ秘密基地のような特別的で穏やかな空間を生活に溶け込ませる。



キューブ

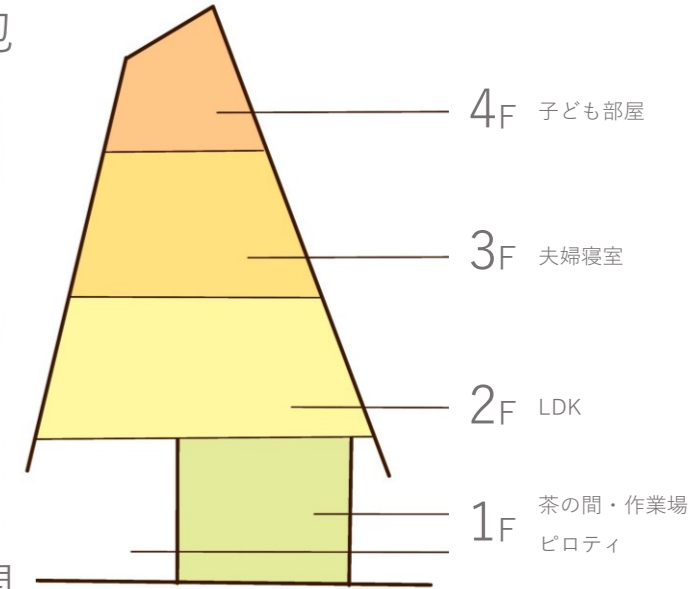


包まれる

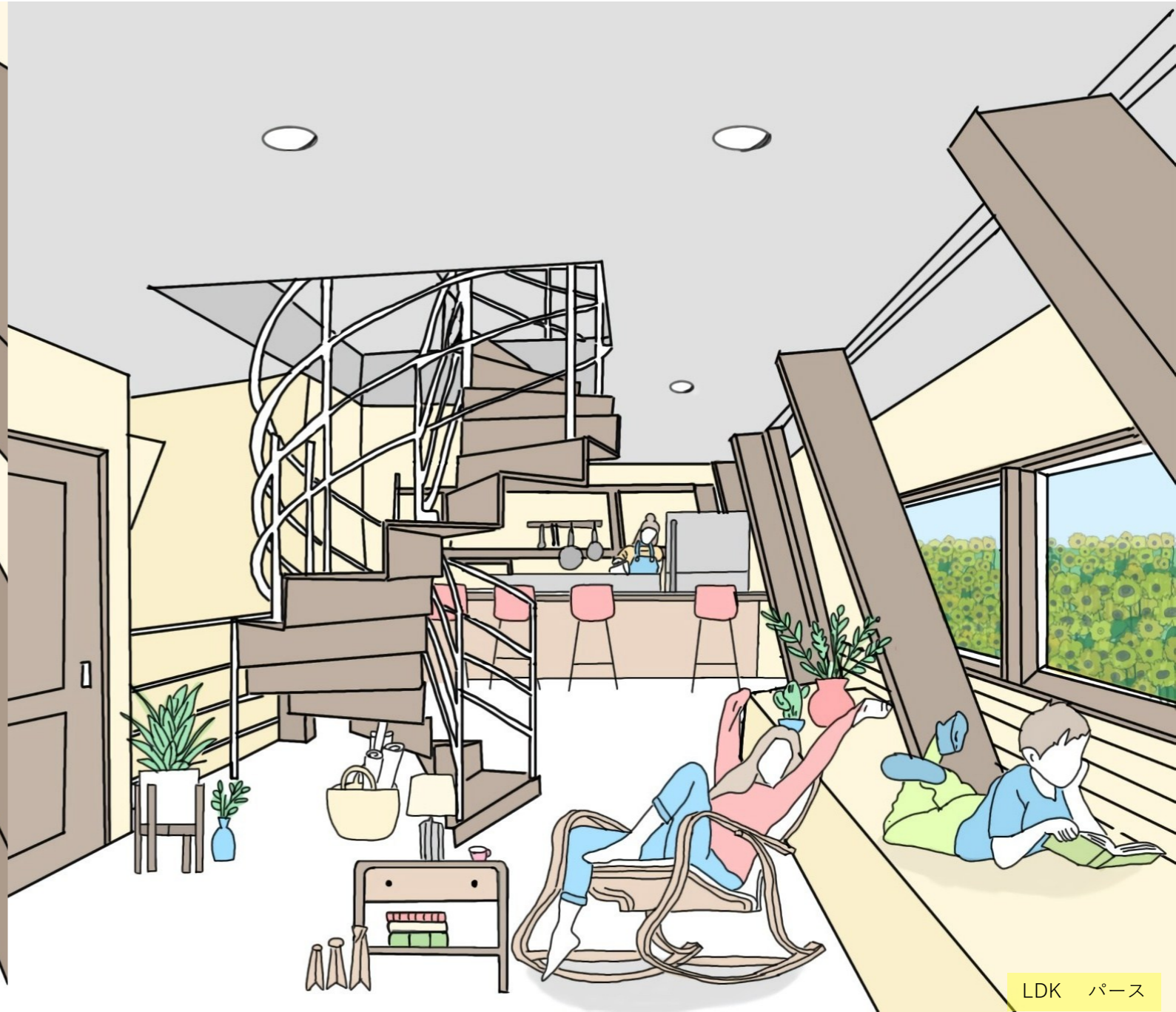
## ゾーニング

包

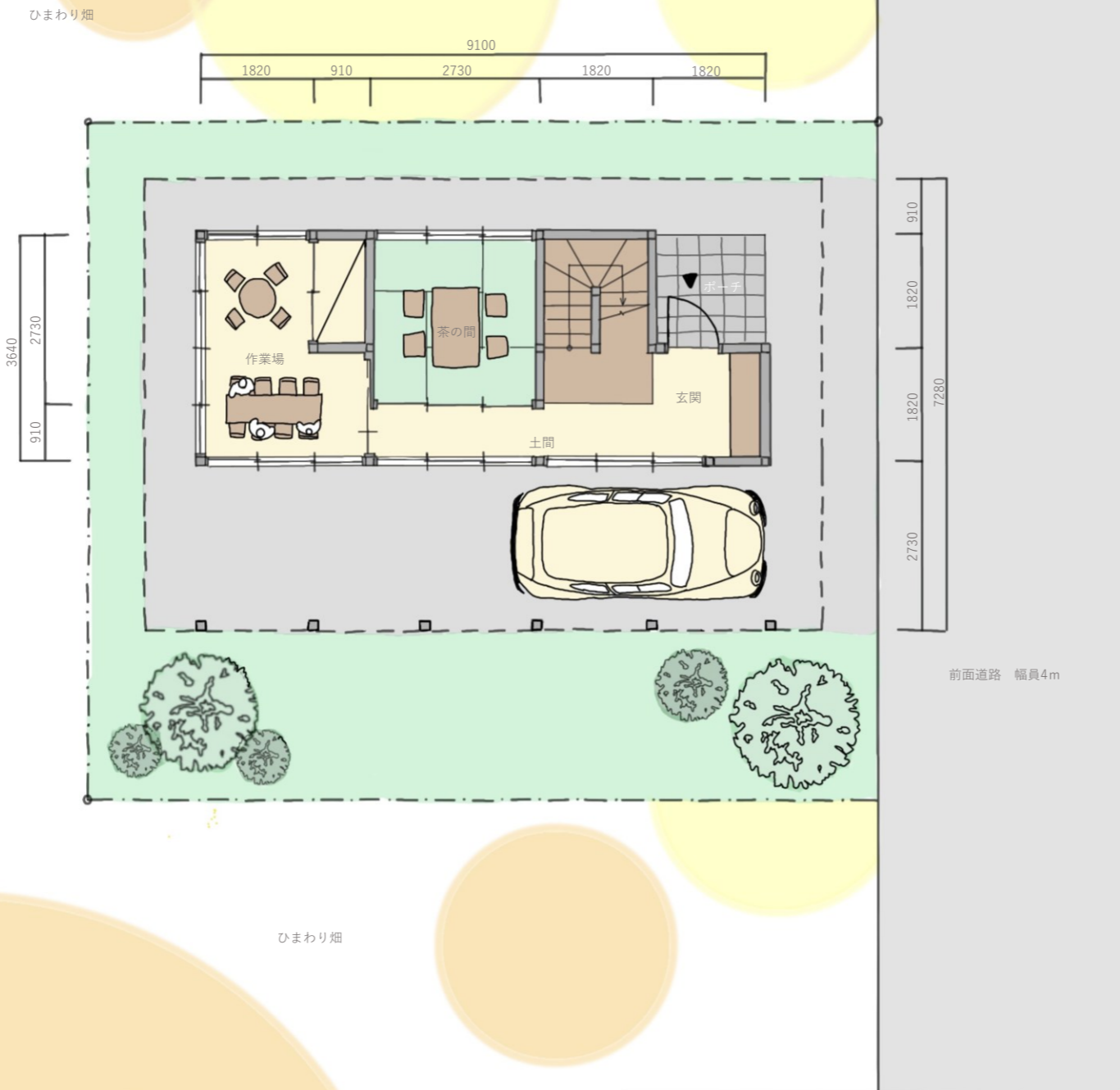
↑  
↓  
開



子ども部屋 パース



LDK パース

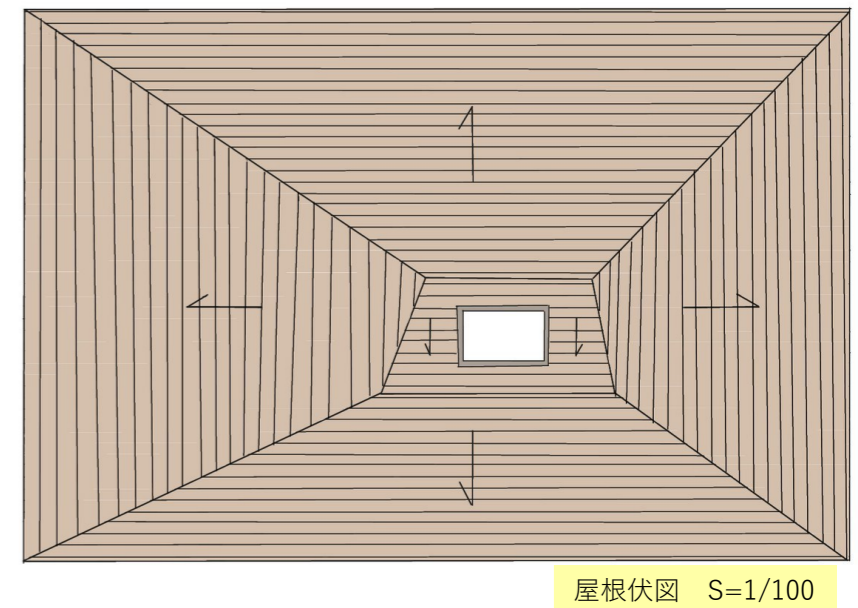
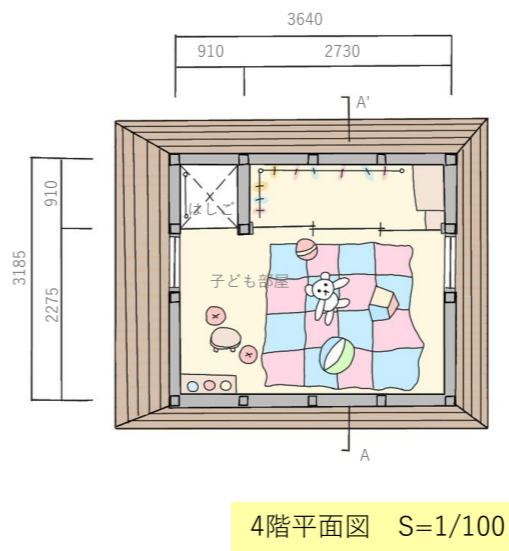
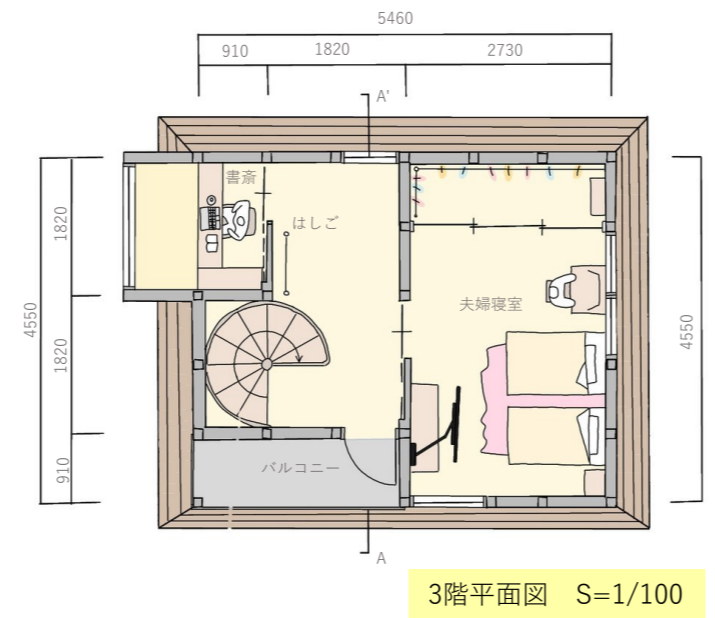
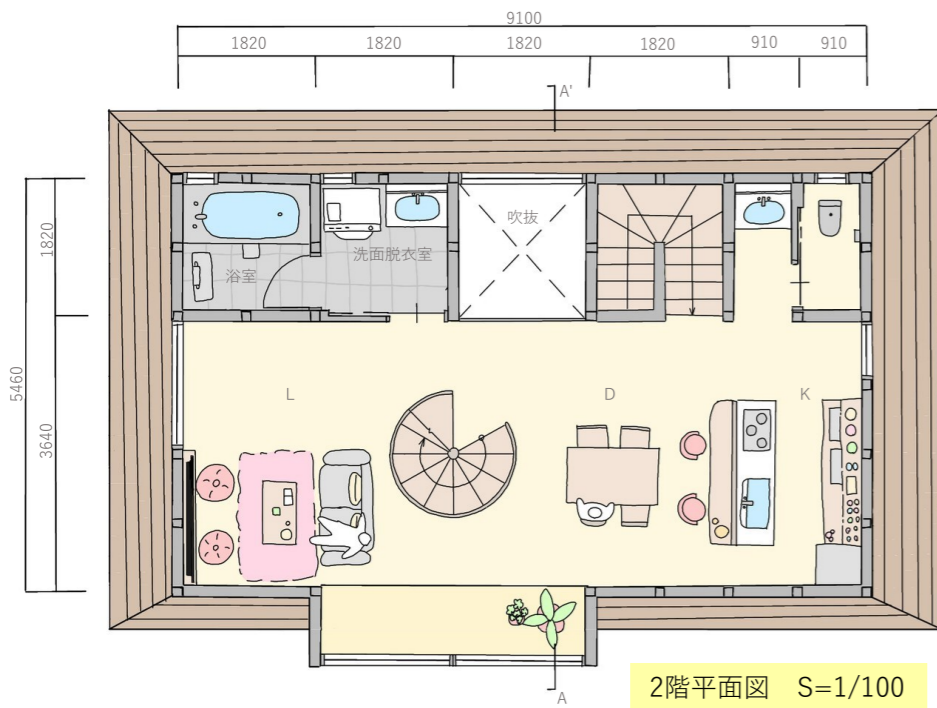


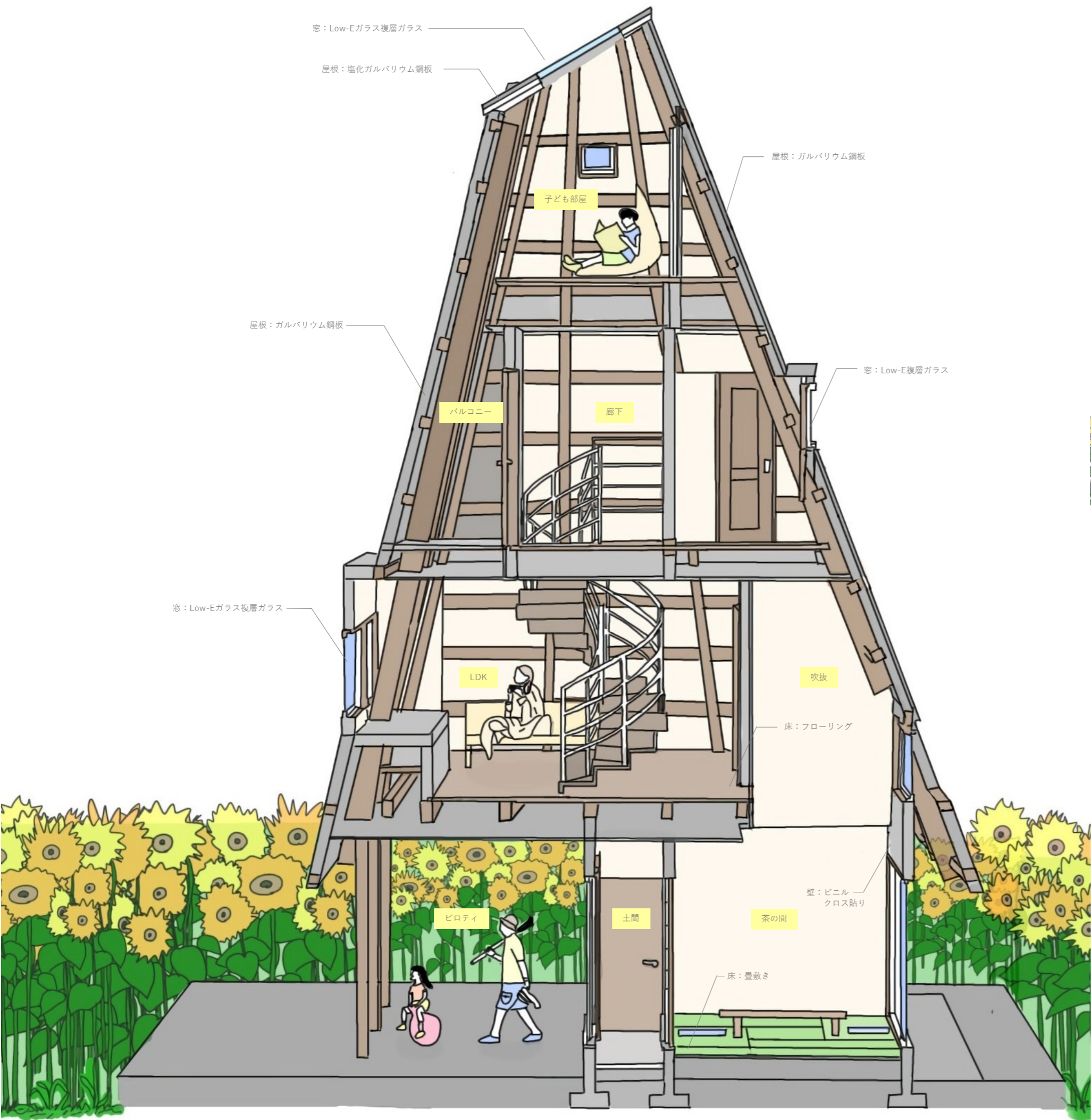
平面計画

ピロティや茶の間でゆっくりと安らぐ。開口部を大きく計画し、どこにいても自然を感じることができる。

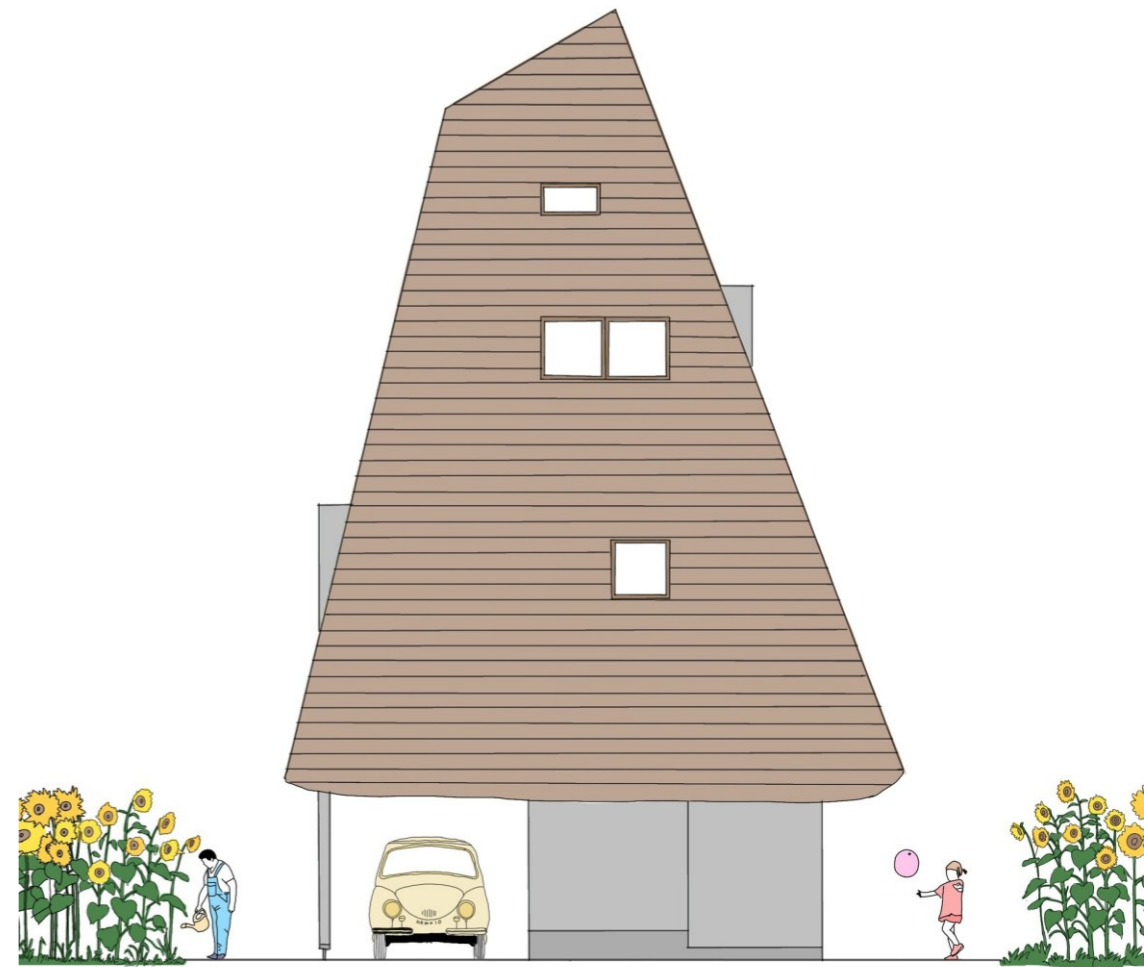
2階はLDK、3階は夫婦寝室、4階は子ども部屋で構成する。  
トッライトから光を注ぎ、階段や吹き抜けから伝わり明るい空間となる。  
出窓を設け、平面、立面にアクセントを加える。

配置図・1階平面図 S=1/100





A-A'断面パース



西側立面図 S=1/100



南側立面図 S=1/100